

災害ボランティア活動報告 (No. 13)

年月日: 4月7日(土)～4月8日(日)

活動場所: 宮城県七ヶ浜町

活動内容: 田んぼの再生 (小石取や異物撤去)

活動拠点: 七ヶ浜町ボランティアセンター

参加者: メンバー: 木下史典・森本次郎・芦澤潤一・吉田直樹・竹下萌、船橋中央倫理法人会の皆さま、ネット参加の皆さま。(合計 41 名)

活動報告: 『ボランティア体験バス』 in MIYAGI。船橋中央倫理法人会さんとの共催によるボランティアバス第 2 弾です。今回は助成がなく実費にもかかわらず多くの方々に参加して頂きました。そして、多くの方々が次回もボランティアしたいとの事。その思いこれからもつなげて参ります。



(七ヶ浜町ボランティアセンター前での集合写真。今回の参加者の皆さんです。今回も親子で参加された方、上は 80 歳から中学生まで幅広い年代の方々が参加されました。)

行程: ※4月7日(土) 21:00 四街道駅⇒21:45 船橋駅北口天沼公園⇒22:30 錦糸町駅南口⇒高速道路 (途中時間調整)



今回も、いずみ観光バスさんにお世話になりました。（写真左）夜行のため皆さん熟睡されています。（写真右上）やはり東北、途中インターで白いものが積もっていると思ったら雪でした。（写真右下）その後雪が降り始めました。東京と比べ寒いです。

※4月8日(日) ⇒07:00 ホテルにて朝食⇒現地視察⇒09:00 ボランティア活動⇒昼食⇒午後の活動⇒15:00 入浴⇒高速道路⇒錦糸町⇒船橋⇒四街道

参加費 8500 円、今回は実費になりました。※往復交通費、朝食・昼食、入浴料、保険料

朝 7 時：ホテルキャッスルプラザ多賀城レストランで朝食後七ヶ浜災害ボランティアセンターに向かいましたが、今回はバスの中で多賀城市倫理法人会のメンバーで被災された佐藤さん（多賀城市在住）と佐藤さん（七ヶ浜在住）のお二人の佐藤さんに同乗して頂き震災時の経験談をお話して頂きました。

多賀城市の佐藤さんは、津波のさい小高い交差点で信号待ちをされており、後ろの信号待ちの車は津波に流されたとの事。運良く助かったが周り一面は海になっており、避難しようとも人の背丈ぐらい水で埋まっていた。翌日近くの自衛隊駐屯所からボートで助けに来てくれ救助されたそうです。

七ヶ浜の佐藤さんは、海辺で被災時の状況を説明してくれました。海沿いの道を津波の来る 5 分前に通られたとのことで、こちらの佐藤さんも運良く助かったそうです。佐藤さんの家の跡を見せて頂きました、家の基礎だけが残っており、この後どうされるのか心配で

す。津波被害の方々は小高い所に家を建て替えるのも、土地を売り助成金や災害支援金を含めても 1,000 万円以上の支出が必要であり、大半の高齢者世帯の方々は、家を諦め被災者住宅に住むそうです。大変な状況は変わらないのが現状です。



※七ヶ浜の佐藤さん（写真左で手を上げ説明して下さっています。）その後、七ヶ浜災害ボランティアセンターに行き、徒歩にて作業する田んぼへ向かいました。
※今回は、被災者の方々から震災時の状況説明があり、初めての方も、その悲惨さが実感され、得るものが有ったと思います。



※七ヶ浜災害ボランティアセンターでスタッフの方々から説明を受ける。

※徒歩で作業場所の田んぼへ向かいます。



※田んぼの小石取り、及び、異物等除去する作業を行う。農作物を育てるため小石や分解されないポリ、プラスチックなどを取り除きます。その後、帰路へ東京、千葉へ向かう。

